



第17回 日アセアン経済大臣会合
2011年8月13日、インドネシア・マナド

共同宣言（仮訳）

1. 第17回日アセアン経済閣僚会議は、2011年8月13日に、インドネシア・マナドで開催された。今次会合では、インドネシアのマリ・パンゲストゥ商業大臣及び日本の海江田万里経済大臣が共同議長を務めた。
2. アセアン経済閣僚は、2011年3月に日本で発生した地震及び津波の被害からの経済復興について確認し、その地域における物品、サービス及び人の円滑な流れの早期回復を確かなものとすることの重要性を認識した。日本は、アセアンに対し地域統合への努力における継続的な支援を約束した。
3. 閣僚は、2010年が日アセアンの貿易にとって好調な回復を示し、世界的な経済危機からの回復を示唆する年であったことを確認した。日本との輸出入は大きく増加し、特に輸入については2009年の781億米ドルから2010年には1031億米ドルへと増加した。総貿易額は、2010年には2,039億米ドルに達し、26.7%増加した。日本は、2010年におけるアセアンの総貿易額の10.0%を占めており、アセアンにとって第三の貿易相手国である。他方、アセアンは、日本にとって中国に次ぐ第二の貿易相手国である。
4. 閣僚は、2009年の38億米ドルから2010年には84億米ドルへと124.3%増加した日本からアセアンへの海外直接投資の著しい伸びを歓迎した。日本は、2010年のアセアンへの総対内投資において11.4%を占め、依然としてアセアンに直接投資する重要な国である。

日アセアン包括的経済連携協定 (AJCEP)

5. 閣僚は、品目別規則のHS2002からHS2007への変換の作業が完了したことを歓迎した。閣僚は、関係する締約国に対し、関税譲許表に係る同様の作業を完了するよう促した。

閣僚は、AJCEP 協定における原産地証明書の活用を調査する取り組みを開始した AJCEP 合同委員会及び関連委員会の努力を歓迎した。閣僚は、AJCEP 協定の円滑な実施と最大限の活用を確保する重要性について改めて確認した。かかる観点から、閣僚は、高級実務者に対し、実施に係る全ての問題及び懸念を解決するよう促した。

6. 閣僚は、AJCEP 協定のサービス貿易及び投資に関する交渉の実質的な成果について確認し、歓迎した。閣僚は、AJCEP 協定を包括的な経済連携協定として完成させるために、2012 年の第 18 回日アセアン経済大臣会合または第 15 回日アセアンサミットまでにこれらの交渉の妥結に努めるよう高級実務者に指示した。

産業界の関与

7. 閣僚は、2011 年 7 月 9 日にマレーシア・クアラルンプールで開催された日アセアンの経済大臣、アセアン事務総長及び在アセアン日本人商工会議所との対話の成果を歓迎した。閣僚は、アセアンにおけるビジネス環境の改善はアセアン及び日本の双方にとって利益があることを強調し、日本の産業界からの要望は A E C ブループリントの中間見直し等、2015 年までのアセアン経済共同体の実現に向けた取り組みにおいて考慮することに合意した。日本は、日アセアン間のビジネス関係及び経済協力関係を促進するとの目的で、来年のアセアン経済大臣による日本へのロードショーを歓迎した。アセアン事務総長と在アセアン日本人商工会議所との次回対話は 2012 年にタイ・バンコクで予定されている。

日アセアン経済協力

8. 閣僚は、地域の経済統合を深化させ、開発格差を是正するため、日アセアン間の経済協力を強化することの重要性を強調した。閣僚は、アジア・サステイナブル・ケミカル・セーフティー・プラン及びアジア知識化イニシアティブ等の、アセアンにおける経済成長の質を向上するために日本が現在実施している取り組みの進展を歓迎した。閣僚は、アセアンの連結性強化に関する活動等の経済協力活動を検討し、効果的に実施するための取り組みを可及的速やかに開始するよう AJCEP 合同委員会を通じて経済協力小委員会に促した。

スマート・コミュニティ・イニシアティブ

9. 閣僚は、経済成長及び持続可能な開発を実現するために日本が現在

実施している取り組みの進展を歓迎し、スマート・コミュニティ・イニシアティブの重要性を再確認した。閣僚は、強靱性のあるスマート・コミュニティを構築することの重要性を認識しつつ、また、地震及び津波による日本の災害の経験を想起しつつ、日本政府が日本スマート・コミュニティ・アライアンス等の民間団体と協力して取り組みを強化していることに感謝した。

二国間クレジット・メカニズム

10. グリーン成長を実現するという観点から、閣僚は、低炭素技術・製品の導入及び普及のために排出権を提供するという二国間クレジット・メカニズムの日本提案を高く評価した。

物流の可視化

11. 閣僚は、アセアンの連結性強化及び東アジアにおけるより効率的な物流網の構築に向けた日本政府による物流可視化イニシアティブを感謝した。これは、世界的な物流を最適化するための相互利用可能な規格に基づき、貨物状況のデータを共有するための世界的な情報網の構築を支援する。閣僚はまた、アセアンの連結性強化のために日アセアン統合基金によるフィージビリティ・スタディの実施を支持した。

中小企業支援

12. 閣僚は、中小企業への資金供給手段を改善することの重要性を強調し、AMEICC 等の関連の場を通じ、かかる目的のための考えを進展させるようさらなる議論を促した。

知的財産協力

13. 閣僚は、また、日アセアン間の技術革新、貿易及び投資を加速化し、以て日アセアンの持続可能な経済成長を達成するために、知的財産の重要性を認識した。かかる共通の理解に基づき、閣僚は、日アセアン間の協力を深化させるために、2012年2月に日本において日アセアンの特許庁の長官を集めた会合を開催することに合意した。

今後10年間の日ASEAN 経済関係のためのロードマップ

14. 閣僚は、アセアン事務局及びAMEICCによる支援を受けつつ、今後10年間の日アセアンの経済関係に関するロードマップを策定するよう高級実務者に指示した。閣僚はまた、このロードマップは、ビジネス環境整備、貿易・投資の円滑化及び自由化、インフラ開発、連結性、人材育成、国内政策・規制の強化及び調整等の分野において、戦

略的パートナーシップを促進することを目的として検討されるべきものであることを確認した。

日 ASEAN 経済産業協力委員会

15. 閣僚は、AMEICC の事業、特にアセアン経済共同体の実現に向けた途上国の更なる開発と中小企業振興に関する事業の実施に関する進捗に感謝した。加えて、閣僚はアジア・サステイナブル・ケミカル・セーフティー・プランの継続活動、特にリスクに基づいた化学物質管理に関する人材育成の強化及び「アセアン化学物質データセンター」の創設に向けた活動に感謝した。閣僚は、AMEICC 及び他の枠組みを通じて提案された事業、特に地域経済統合の強化のための事業を実施することにより、日アセアン間の経済連携を一層強化するとの約束を確認した。